

# 「服部克久～ジャズに魅せられて」(全2回)

戦後の日本の音楽界を牽引してきた日本を代表する作編曲家、服部克久氏を講師に迎え、“ジャズ”という音楽の日本でのルーツ、発展の歴史をご紹介します。父・服部良一の時代から、戦後～高度成長期の音楽シーンを紹介しながら、日本でジャズが流行、発展してきた経緯をお話します。

多彩なジャズ公演を楽しむために、改めて日本のジャズの原点にふれてみませんか。

## 第1回 「J-POPの生みの親・服部良一」

■10月15日(土)14:00～

服部克久氏の父・服部良一も昭和初期から数々の名曲を生み出した作曲家。戦中、戦後の日本に夢と希望を与え続けたヒット曲の誕生秘話をお話します。「別れのブルース」(淡谷のり子)、「東京ブギウギ」(笠置シズ子)など、懐かしい昭和の歌謡曲をお聴きいただきながら、日本にジャズ流行の礎を築いた音楽業界のこぼれ話もご紹介します。服部良一直筆の譜面や、思い出の写真なども展示予定。



■講師 服部克久

■司会 矢島敦美(グランシップ チーフプロデューサー)

## 第2回 「進駐軍の残した流行歌」

■11月5日(土)14:00～

戦後、進駐軍放送から流れてきた音楽は、これまでの日本の音楽シーンを覆します。「センチメンタル・ジャーニー」から、ジャズブームが起こり、1957年にはベニー・グッドマンが音楽文化使節として来日。この時の貴重なGHQ保存映像を特別に上演します。進駐軍放送のヒット曲を、江利チエミ、雪村いづみ、美空ひばりなどが歌い、日本でも大流行。アメリカの歌手から芸名を取り入れたペギー葉山やフランク永井も登場。長きに渡り日本のファンを魅了したフランク・シナトラの「マイ・ウェイ」や「ニューヨーク・ニューヨーク」の懐かしい歌声もお聴きいただけます。ジャズだけでなく、ブギ、ブルース、タンゴなどのリズム名が付いた日本生まれの曲も次々とヒットし、このような音楽の力とともに、日本が戦後間もなくの高度成長期を迎えます。多様な音楽が急速に発展した時代を服部克久がご案内します。

## 平成28年度 グランシップ 主なジャズ公演

北村英治スーパーカルテット

■9/18(日)17:00～

TOKUが歌うシナトラ&  
クリスマス・ソング with マリーン

■12/16(金)19:00～

リー・リトナー&ジャパニーズフレンズ

寺井尚子(Vln)、本田雅人(Sax)、神保彰(Drums)

■2017/3/11(土)17:00～

会場(各回): グランシップ 6階交流ホール(JR東静岡駅南口隣接)

入場料(各回): 一般 1,000円 子ども・学生 500円 ※事前申込制、当日支払。未就学児入場不可、子ども・学生は28歳以下の学生

### 申込方法

電話・FAX・E-mailにて下記までお申し込みください。FAX、E-mailの方は、住所、氏名、電話番号、参加人数を明記してください。

グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000(10:00～18:30)/FAX 054-203-5716/E-mail info@granship.or.jp

主催: 公益財団法人静岡県文化財団、静岡県